【資料１】

F-REIの最近の動き

総務部長　山田　哲也

2026年8月5日

福島国際研究教育機構
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

F-REI

福島国際研究教育機構（F-REI）の組織体制について

理事長特別顧問

理事長



山崎　光悦

国際アドバイザー

アドバイザリーボード

監事



森下　信



中西　友子

理事



髙谷　浩樹
（運営総括）



江村　克己
（研究開発管理）

執行役



大本　治康
（産業化、施設・設備）



大和田　祐二
（人材育成・国際・外部資金）

広域連携監



村田　文夫
（広域連携・福島RTF）

- 運営管理部門
  - 監査室
  - 総務部
    - 総務課
      - 広報室
    - 人事課
    - 財務課
    - 経営企画課
    - 施設・フィールド管理課
    - 情報システム課
  - 研究開発推進部
    - 研究開発企画課
      - 研究評価・インテグリティ室
    - 研究開発推進第一課
    - 研究開発推進第二課
    - 人材育成推進課
    - 国際・産学官連携推進課
- 研究開発部門
  - 分野長等
  - 研究開発支援室
  - 研究開発ユニット（19ユニット）

F-REIの研究開発部門について

分野長等	ロボット	野波分野長
		松野副分野長
	農林水産業	中谷分野長
		荒尾副分野長
		中山副分野長
	エネルギー	矢部分野長
		秋田副分野長
		錦谷副分野長
	放射線科学・創薬医療	茅野分野長
		山下副分野長
		絹谷副分野長
		伊藤副分野長
	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信	今村分野長
		大原副分野長
		出口副分野長

➢ 専門的知見を活かし、各分野における研究開発を戦略的に推進。

研究開発ユニット	ロボット	遠隔操作研究ユニット
		自律化・知能化・群制御研究ユニット
		燃料電池システム研究ユニット
		パワーソフトロボティクスユニット
		狭隘空間災害対応ロボティクスユニット
	農林水産業	土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニット
		土壌ホメオスタシス研究ユニット
		森林資源活用ケミカルイノベーションユニット
		作物駆動型栽培環境改良ユニット
	エネルギー	水素エネルギーシステム安全科学ユニット
		森林バイオマス活用有機合成研究ユニット
		エコ水素エネルギー材料・デバイス研究ユニット
		藻類応用生態学・ブルーイノベーション研究ユニット
	放射線科学・創薬医療	植物イメージング研究ユニット
		放射線基盤技術開発ユニット
		放射性創薬ユニット
	原子力災害に関するデータや知見の集積・発信	地域環境共創ユニット　※
		原子力災害医科学ユニット
		大規模災害レジリエンス研究ユニット

➢ ５分野において、それぞれ研究を実施。

※これまでの放射生態学ユニットの研究とJAEA及びNIESが実施していた放射性物質の環境動態研究を踏まえ、地域環境共創ユニットとして再編（令和7年4月）

分野長・副分野長

概要

分野長、副分野長は、各分野における研究開発を戦略的に推進していくため、各分野において専門的知見を有する外部の研究者を分野長及び副分野長として任命しているもの。

➢ 分野長

担当する分野における研究課題を具体化し、研究の進め方等に係る調整・管理を行い、また、将来のF-REIの研究グループの確保に向けた調整など、研究に関する総括的な業務を行う。

➢ 副分野長

副分野長は分野長を補佐し、また、分野長とは異なる専門的知見に基づく研究課題の調整等を行う。

ロボット		【分野長】**野波　健蔵**（のなみ　けんぞう） 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 会長
		【副分野長】**松野　文俊**（まつの　ふみとし） 大阪工業大学工学部電子情報システム工学科 特任教授
農林水産業		【分野長】**中谷　誠**（なかたに　まこと） 福島国際研究教育機構　前副分野長（農林水産業分野）
		【副分野長】**荒尾　知人**（あらお　ともひと） 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター 元所長
		【副分野長】**中山　一郎**（なかやま　いちろう） 国立研究開発法人水産研究・教育機構　前理事長
エネルギー		【分野長】**矢部　彰**（やべ　あきら） 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）イノベーション戦略センター フェロー
		【副分野長】**秋田　調**（あきた　しらべ） 一般財団法人電力中央研究所 名誉特別顧問
		【副分野長】**錦谷　禎範**（にしきたに　よしのり） 早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構ナノテクノロジー研究所 招聘研究員

放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用		【分野長】**茅野　政道**（ちの　まさみち） 福島国際研究教育機構　前副分野長（放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野）
		【副分野長】**山下　俊一**（やました　しゅんいち） 福島県立医科大学 副学長
		【副分野長】**絹谷　清剛**（きぬや　せいご） 金沢大学 副学長
		【副分野長】**伊藤　久義**（いとう　ひさよし） 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 前理事
原子力災害に関するデータや知見の集積・発信		【分野長】**今村　文彦**（いまむら　ふみひこ） 東北大学 副学長
		【副分野長】**大原　利眞**（おおはら　としまさ） 一般財団法人日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター 所長
		【副分野長】**出口　敦**（でぐち　あつし） 東京大学 執行役・副学長

令和8年4月1日（水）
分野長・副分野長が就任

4月1日、放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野において、分野長1名および副分野長1名、農林水産業分野において副分野長2名が就任しました。
これにより、分野長5名、副分野長11名の構成となります。

放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野		【分野長】**茅野　政道**（ちの　まさみち） 福島国際研究教育機構　前副分野長 （放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用分野）
		【副分野長】**伊藤　久義**（いとう ひさよし） 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 前理事
農林水産業分野		【副分野長】**中谷　誠**（なかたに まこと） 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 前副理事長
		【副分野長】**中山　一郎**（なかやま いちろう） 国立研究開発法人水産研究・教育機構 前理事長

令和8年6月1日（月）
分野長が就任

6月1日、農林水産業分野において、新たに分野長1名が就任しました。
これにより、分野長5名、副分野長10名の構成となります。

農林水産業分野		【分野長】**中谷　誠**（なかたに まこと） 福島国際研究教育機構　副分野長（農林水産業分野）

政府文書におけるF-REIに関する記載

政府は、近年「科学技術・イノベーション基本計画」、「統合イノベーション戦略」及び「骨太の方針」を閣議決定しており、その中でF-REIに関する取組や方向性についても記載しているもの。

文書 （公表日）	記載（抜粋）
第7期科学技術・イノベーション基本計画 （令和8年3月27日）	世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指す「福島国際研究教育機構」において、福島ロボットテストフィールド等の実証の場を活用し、産業化や社会実装に向けた研究開発を推進するとともに、産学連携体制の構築や次世代の科学 技術人材育成などに取り組む。 さらに、福島発のイノベーションモデルを国内や世界へ展開することで、課題解決に貢献する。
統合イノベーション戦略2026 （令和8年7月14日）	福島国際研究教育機構（Ｆ－REI）における、福島ロボットテストフィールド等の実証の場を活用した、産業化や社会実装に向けた研究開発、産学連携体制の構築や次世代の科学技術人材育成などを支援する。また、2030 年度までに施設の順次供用開始を目指す。
骨太の方針2026 （令和8年7月21日）	福島イノベーション・コースト構想や福島国際研究教育機構（F-REI）の取組を、「地域未来戦略」等と連携して進め、産業発展を促進する。

自由民主党「東日本大震災復興加速化のための第15次提言」におけるF-REI関連の記載

自由民主党は、令和8年6月12日に「東日本大震災復興加速化のための第15次提言」を取りまとめ、F-REIの今後の研究の方向性や機能強化等についても提言がなされているもの。

● 今後のF-REIの研究の方向性（特に重点的に取り組むべきテーマ）

① 宇宙や廃炉等の過酷環境でも活躍できるロボット
・多様な「過酷環境」を克服し、人が作業することが困難な環境に対応して自律的に活動できる、フィジカルAIも活用したロボット開発を重点的に実施するべき。
・RTFの環境整備を進めるべき。
・先進的なドローン実証のメッカを目指すべき。

② 放射線フロンティア医療・研究
・福島が新たな放射線がん治療薬（RI治療薬）により最先端の治療拠点となることを目指すべき。
・優れた加速器を導入して研究開発を進め、福島医大と連携して臨床研究を進めるべき。

● 既存の研究開発独法との今後の役割分担
・他の研究開発独法等（産総研、理研、農研機構等）との役割分担を明確化して、各省の研究開発予算をF-REIに集中投資するべき。

● 提言
・ F-REI・RTFが一大研究・実証拠点となるよう必要な施設・設備について検討、予算措置すること。
・ 特に重点的に取り組むべき研究事業の研究費について速やかに少なくとも倍増すること。また、予算の柔軟化を引き続き進めること。

宇宙や廃炉等の過酷環境でも活躍できるロボット

F-REI
福島国際研究教育機構
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

3つの過酷環境で活躍するロボット

① 災害対応ロボット

人が近づけない災害現場で、
調査・救助・物資運搬をサポート！



② 廃炉ロボット

放射線や高温などの激しい環境で、
廃炉に関わる作業をサポート！



③ 森林作業ロボット

急な斜面や過酷な作業環境での伐採・
運搬・植林を助ける！



フィジカルAIを活用した、現場で使える過酷環境ロボットのデータ基盤整備及び開発

福島ロボットテストフィールド（RTF）を中核にした開発・実証拠点



AIを使いこなすために、いかにデータを取得するかが重要。
実際のフィールドでデータを蓄積することにより、
災害現場で「失敗」しないロボットをつくる！

フィジカルAI（身体を持つAI）で賢く、自律的に行動！

見る・感じる（センサー） → 考える・判断する（AI） → 動く・作業する（ロボット本体）

F-REIが取り組むロボット技術のキーワード



遠隔操作技術（ハプティクス）
まるで直接触っているような感覚で
遠くのロボットを精緻に操作できます。



自律化・知能化・群制御技術
AIで自律的に判断し、複数ロボットが
協力して賢く作業します。



軽量・高出力な燃料電池
長時間動けて、高ペイロードを運搬
できるドローンを開発します。



優しく強いパワーソフトロボティクス
災害現場で活躍する、力持ちで
しなやかなロボット開発を目指します。

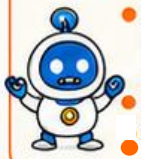


狭険空間探査に優れた索状ロボット
狭いすき間やパイプの中など、
入り組んだ場所で生存者を探索します。



耐環境ダイヤモンド半導体技術
放射線・高温・高圧など過酷環境に強い
ロボットの”心臓部”を支えます。

なぜ福島が最適なの？



- 世界最先端の研究開発機関：F-REIに所属する世界最初の過酷環境ロボットテストフィールド(RTF)を活用できる！
- 消防・警察・自衛隊と連携した救助隊のトライアルが統合技術を磨く！
- 復興と未来づくりのシンボルに！

この拠点が生み出す未来



いのちを守る
災害に強い社会へ



産業の成長・雇用創出
新しい技術と仕事を



環境にやさしい
持続可能な社会へ



世界に貢献する
日本の技術を発信！

目指す姿

**F-REI × RTFが、世界をリードする
過酷環境ロボットの開発・実証拠点へ！**

人の力が及ばない場
所・場面でロボットが
未来を支えます。



放射線フロンティア医療・研究

～放射線の力で、がんに立ち向かう未来へ～

放射性の薬（RI）を体の中に入れて、
がんをたたく新しい治療法（アルファ線治療）の開発

F-REI
福島国際研究教育機構
Fukushima Institute for Research, Education and Innovation

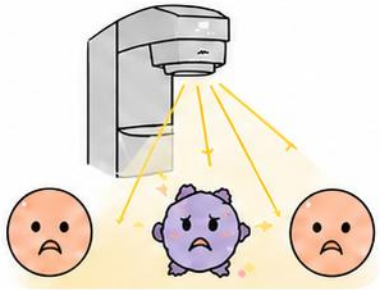
がんに結合する物質（リガンド）とアルファ粒子を結びつけることで、アルファ粒子ががんに集中！

アルファ粒子（α粒子） ＋ リガンド（がんに結合する物質） ＝ 放射性治療薬（リガンド＋α粒子）



リガンドががん細胞にくっつくので、アルファ粒子を効率よくがんに届けることができます。

従来の外照射による治療



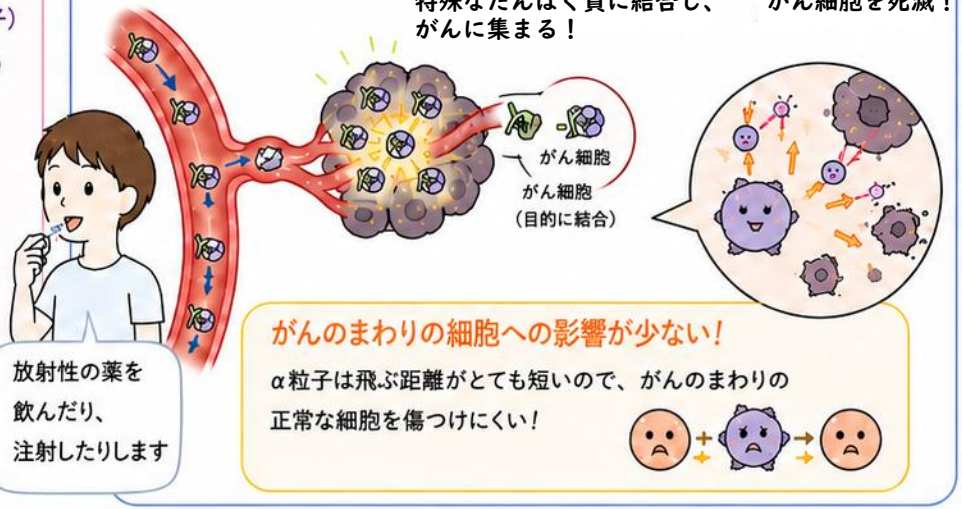
体の外から放射線をあてる方法では、放射線が広い範囲に届くため、がんの回りの正常な細胞も傷つけてしまう可能性が高いです。

アルファ線とは？

アルファ線（α粒子）は、
強いエネルギーをもつ粒子で、
がん細胞をしっかり退治します！



①薬（RI）が血液にのる　②リガンドががん細胞が出す特殊なたんぱく質に結合し、がんに集まる！　③α粒子を出してがん細胞を死滅！



がんのまわりの細胞への影響が少ない！

α粒子は飛ぶ距離がとても短いので、がんのまわりの正常な細胞を傷つけにくい！

体への負担を軽くできる！

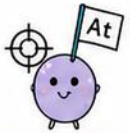
- まわりの正常な細胞への影響が少ない
- 副作用が少なくなる可能性がある

→ 体への負担を軽くできる！

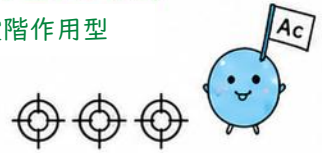


使うことが出来る核種の例

アスタチン（At）
短時間集中型



アクチニウム（Ac）
多段階作用型



従来の抗がん剤と違い、日帰りで治療が可能なものもある

RI内用療法（アルファ線治療）



通院して薬を飲んだり、注射したりするだけ！
日帰りで治療できる！

比べると…

従来の抗がん剤



点滴などで体に入れるため、入院して治療することが多い。

通院で治療できるから…

- 学校や仕事との両立がしやすい！
- 生活への影響が少ない！
- 自分らしい生活を続けやすい！



希少がんの新しい治療の選択肢として期待されています！

令和8年4月21日（火）～22日（水）
国際アドバイザー（リンドクヴィスト博士）との意見交換を実施

4月21日～22日、国際アドバイザーのスヴァンテ・リンドクヴィスト博士がF-REIを訪問し、役員等と意見交換を行うとともに、浜通り地域等の視察を行いました。

F-REI側からリンドクヴィスト博士に対し、直近のF-REIの活動状況や施設の整備、研究開発に関する活動等を説明したほか、博士からは、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について助言をいただくなど、活発な意見交換が行われました。

また、リンドクヴィスト博士に地域の現状の理解をより深めていただくため、東京電力廃炉資料館、福島ロボットテストフィールド、東日本大震災・原子力災害伝承館の視察を行いました。





令和8年7月23日（木）～24日（金）
国際アドバイザー（レイモン博士）との意見交換を実施



7月23日（木）～24日（金）に、国際アドバイザーのフィオナ・レイモン博士がF-REIを訪問し、役員等と意見交換を行うとともに、浜通り地域等の視察を行いました。

F-REI側からレイモン博士に対し、直近のF-REIの活動状況や施設の整備、研究開発の状況について説明したほか、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途及び国際人材の確保等について活発な意見交換が行われました。



また、レイモン博士に地域の現状の理解をより深めていただくため、震災遺構・浪江町立請戸小学校、福島県復興記念公園、會澤高圧コンクリート株式会社、JAEA廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）富岡施設の視察を行いました。

産業化の取組

F-REIにおける研究開発を、福島をはじめ東北の復興に結び付けるためには、広く企業や関係機関を巻き込みながら、実用化や新産業創出に着実につなげていく。

➢ 産学官ネットワーク・セミナー

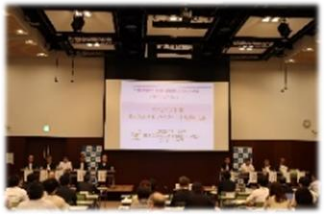
令和8年3月17日に福島市において、農林水産業分野の研究内容を中心に情報発信しながら、企業等とのネットワークを構築。

➢ F-REI座談会

対話を通じて地域の産業関係者等にF-REIの研究開発内容を伝えるとともに、産業化、社会実装を見据えたネットワークの構築を図る場。

○浜通り地域等ではテーマ別で開催
・令和7年7月11日　エネルギー分野（いわき市）
・令和7年12月22日　ロボット分野（南相馬市）

○福島県主催の福島イノベ構想参画促進セミナーにて、
F-REIの取組について説明
（令和7年8月7日 須賀川市、令和7年10月22日 二本松市、
令和7年12月4日 会津若松市、令和8年1月14日　福島市）



➢ 企業が多く集まるイベントでのブース出展

企業に向けた情報発信により機構の存在感を示し、産学連携を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明していく。

➢ World Robot Summit 2025 過酷環境F-REIチャレンジ

災害対応やインフラ点検を担うロボットに対する性能評価手法の検討を進め、当該評価手法の普及・標準化を目的とした国際的な競技会を開催。課題解決に向けた新たなイノベーションの創出を目指し、最先端のロボット技術やソリューションの競争・実証の場。

・令和7年10月10日～12日（福島ロボットテストフィールド）









令和8年3月17 日（火）
令和7年度 第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナーを開催

3月17日、「令和7年度 第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナー」を福島市で開催しました。

本セミナーでは、農林水産業分野を中心に、ロボットやエネルギー分野などとも関連する研究について、F-REIの研究や県内外の企業の先進的な取組を交えながら紹介しました。農業・林業・水産業・スマート化をテーマに、研究と現場の取組への理解を深めるとともに、企業等のネットワーク構築にもつながる内容となりました。


藤井ユニットリーダー


田野井ユニットサブリーダー


佐藤ユニットリーダー


大石ユニットサブリーダー

F-REIからは、藤井一至ユニットリーダー、田野井慶太朗ユニットサブリーダー、佐藤陽一ユニットリーダー、大石潔ユニットサブリーダーの順で4名が登壇し、講演を行いました。





講演後には活発な質疑応答が行われたほか、セミナー終了後には研究者と参加者による交流会も開催され、参加者同士の交流が深まる機会となりました。

企業が多く集まるイベントでのブース出展

企業に向けた情報発信を通じて機構の存在感を示すとともに、産学連携、人材確保を図るため、県内を中心にイベント等でのブース出展を積極的に行い、研究内容や進捗を説明していく。

令和７年度の実績

- ○ 令和7年6月26日（木）
  ハイテクプラザ成果展示・交流会
- ○ 令和7年7月18日（金）
  スタートアップワールドカップ東京大会
- ○ 令和７年10月16･17日（木･金）
  ふくしま再生可能エネルギー産業フェア（REIFふくしま2025）
- ○ 令和7年10月24日（金）
  福島廃炉産業ビジネス総合展2025
- ○ 令和7年10月29･30日（水･木）
  メディカルクリエーションふくしま2025
- ○ 令和7年11月21･22日（金･土）
  ロボット･航空宇宙フェスタふくしま2025
- ○ 令和８年1月22日（木）
  ふくしま産業交流フェア
- ○ 令和8年7月14日（水）～16日（金）
  国際ドローン展

◆メディカルクリエーションふくしま2025◆



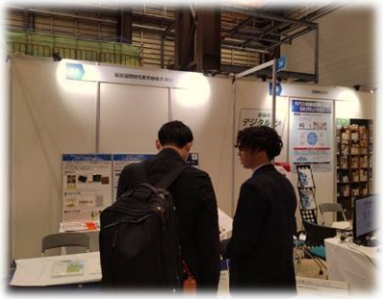
◆ REIFふくしま2025 ◆











人材育成の取組

イノベーションを創出し、新たな産業基盤の構築を通じて、立地地域等をはじめとする福島や東北の創造的復興を実現し、ひいては世界の課題解決を目指し、立地地域等において様々な分野の研究者や技術者を育成する体制を構築する。



- **F-REIトップセミナー**

  福島県内外の大学、高等専門学校の学生を対象に、理事長等の機構のトップ陣によるセミナー

  （会津大学（R7.5.27）、（福島大学（R7.6.11）、福島高専（R7.6.18、6.19）、筑波大学（R7.7.14）、福島県立医科大学（R7.11.7））

- **出前授業**

  県内高校向けに、F-REI研究者によるSTEAM教育等の出前授業を、イノベ機構の事業を通じて実施。

  （原町高校（R7.7.4）、日本大学東北高校（R7.7.28）、磐城高校（R7.8.4）、 会津学鳳高等学校（R7.10.28）、安積黎明高等学校（R7.11.26）、 ふたば未来学園高校（R7.12.9）、福島高校（R7.12.17）原町学校（R8.2.13）、安積中学校（R8.2.27）なみえ創成小学校（R8.2.16、2.17、2.19））

- **F-REIサイエンスラボ**

  小中学生等が科学技術に触れる多様な機会として、R7年度は9月13日(土)に開催。

  〔出張版　浪江町（R7.6.28-29)、郡山市（R7.8.3）、相馬市（R7,10.4）、福島市（R7.11.29）〕



- **サマースクール**

  高校・大学生を対象に、将来の研究者となるための研究体験を行う機会として実施。
  R7年度は8月25日(月)～8月27日(水)に開催。



- **連携大学院制度**

  東北大学大学院医学系研究科と「放射線環境生体医学連携講座」の設置に関する協定に基づき、学生受け入れ・指導開始

- **その他**

  （出前講義　相双地区理科教員向け（R7.6.27）、 東北大学（R7.10.30）、獨協医科大学（R7.11.27）
  研究体験講座（R7.8.1、R7.12.24）
  国際STEAMワークショップ in Fukushima 2025（R7.8.16～17））

F-REI トップセミナー

福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、新産業創出等研究開発協議会の４機関を対象に、F-REI役員が自らの経験を通じて研究者としてのやりがいなどを伝えるもの。

直近でのF-REI トップセミナーの開催実績

〇令和８年５月２２日（金）
実施場所：会津大学
講師：山崎理事長
講演内容：モノづくり産業の状況やAIについて　等

〇令和8年6月17日（水）～18日（木）
実施場所：福島工業高等専門学校
講師：
17日：エネルギー分野 秋田副分野長
18日：森下監事
講演内容：
17日：エネルギー問題の状況とF-REIエネルギー分野の研究
18日：勉強・研究への心構えについて
（含：F-REIの紹介＋最新のAI技術）







F-REI 出前授業

地域の未来を担う若者世代を対象として科学の楽しさを伝え、理系導入を促すため実施しているもの。

直近の開催実績

〇令和7年２月１３日（金）原町高等学校
講師：大和田執行役

〇令和７年２月２７日（金）安積中学校
講師：村田広域連携監

〇令和８年４月３０日（木）会津学鳳高校
講師：エネルギー分野　錦谷副分野長

〇令和８年６月２９日（月）安積中学校・高等学校
講師：土壌ホメオスタシス研究ユニットの藤井一至ユニットリーダー

〇令和８年７月３日（金）原町高等学校
講師：大規模災害レジリエンス研究ユニットの葛西優香研究員

実施対象

〇実施対象：福島県内の高校　等
(福島ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｺｰｽﾄ構想推進機構と連携して実施)



【参考①】
2026.2.13 出前授業の様子
大和田執行役（対象：原町高等学校）



【参考②】
2026.2.27 出前授業の様子
村田連携監（対象：安積中学校）

F-REIサイエンスラボ

小中学生やその親子を対象に、科学技術に触れる多様な機会（体験学習会）を提供し、地域の未来を担う若者世代の人材育成を図るため実施しているもの。

直近の開催実績

○令和８年５月２４日（日）郡山市ふれあい科学館
講師：放射線基盤技術開発ユニット　武田伸一郎主任研究員、
織田主任研究員、アベル研究員
内容：ブロックを用いたミニヘリコプターのプログラミング体験

○令和８年６月２５日（木）学び舎ゆめの森（大熊町）
講師：アデラSC
内容：顕微鏡を用いた動植物観察体験

○令和８年７月１９日（日）CREVAおおくま
講師：F-REI職員
内容：偏光フィルムと紙コップを使ったオリジナル万華鏡づくり

○令和８年８月２日（日）BASEマチナカ（浪江町）
講師：F-REI職員
内容：偏光万華鏡製作体験







【その他共催イベント】
「未来への風プロジェクト in なみえ」
- 開催日：令和８年７月５日（土）
- 会　場：浪江町地域スポーツセンター
- 内　容：トイドローン操縦体験

F-REI短期研究体験プログラム（令和８年度版サマースクール）

F-REIの本施設完成後に本格実施する短期研究体験（サマースクール）について、下記のとおり令和8年度版を実施予定。

令和8年度版サマースクールの概要

○目的：
F-REIの研究ユニットで研究体験を行うことで、将来研究者になりたい学生が新たな知識やスキルを学ぶためのプログラムを試行する。

【土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニット】
➢ 受入期間：令和8年8月19日（水）～27日（木）

【地域環境共創ユニット】
➢ 受入期間：令和8年8月18日（火）～24日（月）





昨年度のサマースクールの様子



司令塔の取組

F-REIのリーダーシップの下で、既存施設や大学等の各機関が福島において取り組む新たな産業の創出等に資する研究開発に関する計画等を持ち寄り、協議会での議論を通じて、研究開発力を結集するための目標やビジョンの共有を図る。

➢ F-REI協議会の組織・運営

新産業創出等研究開発施策の実施に関する司令塔機能の発揮を図る。7府省庁、福島県、浜通り地域等15市町村、大学、研究機関等の35の構成員が参画令和7年7月29日に第4回協議会を開催。



➢ 連携協力に関する基本合意書等の締結

F-REIのミッションを円滑に進めるとともに、F-REI設置の効果を広域的に波及させるため、研究開発・人材育成等における連携、双方の資源を有効的に活用した協働活動等、締結先に応じた協定を締結。

➢ 放射性物質の環境動態研究に関する統合

・日本原子力研究開発機構（JAEA）廃炉環境国際共同研究センター（CLADS）
・国立環境研究所（NIES）福島地域協働研究拠点

⇒基本協定等を締結（R6.7.8）し、これらの施設における放射性物質の環境動態研究に係る部分について統合（R7.4.1）



➢ 福島ロボットテストフィールド(RTF)の統合

ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指す。

⇒基本合意書を締結（R6.6.14）し、統合（R7.4.1）



令和8年2月9日（月）
あぶくま信用金庫と連携協力協定を締結

2月9日、あぶくま信用金庫とF-REIは連携協力協定を締結しました。今後、この協定に基づいて、互恵的な連携協力を進めていきます。

また当日は、山崎理事長より、「福島国際研究教育機構（F-REI）の取組について～未来を拓く科学技術力・産業競争力の拠点を目指して～」と題し、地元企業の経営者の皆さまに向けて、記念講演を行いました。





令和8年3月10日（火）
兵庫県立大学と連携協力に関する基本合意書を締結

3月10日、兵庫県公立大学法人兵庫県立大学とF-REIは、連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に沿って、互恵的な連携協力を進めていきます。





令和8年4月1日（水）
岩手大学と連携協力に関する協定を締結

4月1日、岩手大学とF-REIは、岩手大学大学院連合農学科※の教育研究の一層の充実と大学院生の資質の向上を図るとともに、相互の研究交流の促進をもって、農林水産分野における学術及び科学技術の発展に寄与することを目的に、連携協力に関する協定書を締結しました。

※弘前大、岩手大(基幹校)、山形大、福島大の各大学院農学科が構成員

＜主な連携事項＞
・連合農学研究科全専攻における教育・研究の連携
・客員教員制度による研究科指導体制の強化
・学生の研究活動支援

連携協力に関する基本合意書（MOU）等の締結

研究開発等の機構のミッションを円滑に進めるとともに、機構設置の効果を広域的に波及させるため、福島や全国の大学、教育機関、研究機関、企業、市町村等との効果的な広域連携を進めることとし、基本合意書（MOU）や包括連携協定等を締結。

締結日	締結先
令和５年４月１日	福島工業高等専門学校
令和５年４月５日	福島県立医科大学
令和５年４月15日	いわき市
令和５年５月17日	福島大学
令和５年５月29日	浪江町
令和５年５月30日	会津大学
令和５年９月１日	南相馬市
令和６年１月25日	株式会社東邦銀行
令和６年３月８日	東北大学
令和６年６月７日	学校法人昌平黌（東日本国際大学など）
令和６年６月14日	福島県（福島ロボットテストフィールドの統合に関して）
令和６年６月14日	福島県、福島イノベーション・コースト構想推進機構
令和６年７月８日	福島県、JAEA、NIES（環境創造センターにおける連携協力に関して）
令和６年７月23日	量子科学技術研究開発機構
令和６年10月３日	米国パシフィック・ノースウェスト国立研究所（PNNL）
令和7年2月4日	東京海上日動火災保険株式会社
令和7年2月27日	東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU, WPI)
令和7年3月4日	英国原子力公社（UKAEA）
令和7年3月27日	筑波大学
令和7年8月29日	理化学研究所環境資源科学研究センター
令和7年10月28日	東京大学大学院情報学環
令和8年2月9日	あぶくま信用金庫
令和8年3月10日	兵庫県立大学
令和8年4月1日	岩手大学（大学院連合農学研究科の教育・研究に関して）



福島県、イノベ機構との連携協力



米国PNNLとの連携協力



F-REI

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute
for Research, Education
and Innovation